

平成29年度

# 一関地球温暖化対策地域協議会

## 総 会

日時 平成29年5月21日（日）

13時30分～15時

場所 一関市民センター 大会議室

（なのはなプラザ3階）

## 一関地球温暖化対策地域協議会

### 一 総会次第 一

1. 開会

2. あいさつ

3. 来賓祝辞

4. 議事

報告第1号 平成28年度事業報告について…………… 2

認定第1号 平成28年度収支決算について …………… 6

監査報告 …………… 7

議案第1号 平成29年度事業計画（案）について …………… 8

議案第2号 平成29年度収支予算（案）について …………… 10

議案第3号 役員を選出について …………… 11

議案第4号 役員承認について …………… 12

一関地球温暖化対策地域協議会会則 …………… 13

5. その他

6. 閉会

## 報告第1号 平成28年度事業報告について

会則第11条第2項に基づき平成28年度事業について次のとおり報告する。

平成29年5月21日提出

一関地球温暖化対策地域協議会  
会長 千田 恭 平

一昨年12月に京都議定書以来の歴史的合意「パリ協定」が採択され、昨年11月4日に発効しました。この協定の目標は、産業革命以降の世界の気温上昇を2℃未満に抑制すること、そのために今世紀後半温室効果ガスの排出量を実質ゼロとすることですが、それがスタートしたのです。これは人類にとっての大目標で、達成までの長い道のりが続きますが、地域に暮らす私たちも微力ながらその一端を担おうと活動を続けてきました。

### 1 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進

#### (1) 環境セミナーの開催

平成27年にパリで開催されたCOP21で、全世界が参加することで合意された「パリ協定」締結後の地球温暖化対策等について講演いただいた。

- 日時 5月15日(日) 15:00～16:30
- 場所 一関文化センター 小ホール
- 講演 『パリ COP21以降の世界と日本、地域の温暖化対策』
- 講師：東北大学 東北アジア研究センター 教授  
明日香 壽川 氏
- 参加者 37人



#### (2) 地球温暖化に関する広報ecoの発行

「できることから実行する」という意識の醸成を図るため、広報編集委員会を開催し市内全世帯に広報ecoを2回発行した。

##### 【第21号】H28.9.15発行

- 市長に施策を提言
- 日本でも温室効果ガスが減少へ
- パリCOP21以降の世界と日本の温暖化対策
- 環境への取組紹介「一関工業高等専門学校」
- 進化するLED照明



##### 【第22号】H29.3.15発行

- 巨大ビニールハウスで木材乾燥
- 一関市が直撃を受けていたかもしれません！
- 脱炭素化へ動き出した世界
- 省エネを極めた建物



## 2 会員相互の情報交換、発信

### (1) 学習会の開催

「低炭素なまちづくり」をテーマに、基本的な事項を学習する会を開催した。

- 日 時 2月19日(日) 13:30~16:00
- 場 所 陣の里(滝沢字寺田下)
- 内 容 ・佐々木事務局長による説明  
・参加者による意見交換
- 参加者 10名



### (2) 会報の発行

会員相互の情報交換を行うことを目的に、IEL会報を3回発行した。



【第17号：8/24発行】



【第18号：1/30発行】



【第19号：4/28発行】

## 3 地域で実践できる協働事業の実施

### (1) 自然エネルギー等見学会の開催

一関市周辺における自然エネルギーを活用した施設を実際に見て体験することにより、自然エネルギーへの理解を深めその普及促進ため貸切バスを借用し見学会を開催した。なお、昼食前の約1時間南三陸町内を巡り、語り部の方に東日本大震災に関して心にしみいるお話をしていただいた。

- 日 時 平成28年11月14日(月) 参加者 43名
- 見学場所

登米町森林組合：太陽熱による木材及び食品乾燥施設

アマタ株式会社(南三陸町)：生ごみ・し尿処理汚泥によるメタン発酵・発電施設



## (2) 太陽熱温水器実態調査

太陽熱温水器の利用状況を知るため、市広報などでヒアリング協力家庭を公募し、ソーラーシステム振興協会の指導で作成した調査表により聞き取りを行った。

- 協力家庭 市内8世帯（各世帯に図書カード500円分を提供）
- 調査期間 平成29年1月31日～3月4日
- 調査者 徳谷副会長、佐々木事務局長、菅原寿運営委員
- 調査結果 太陽熱温水器について、各家庭とも概ね満足していることがわかった。

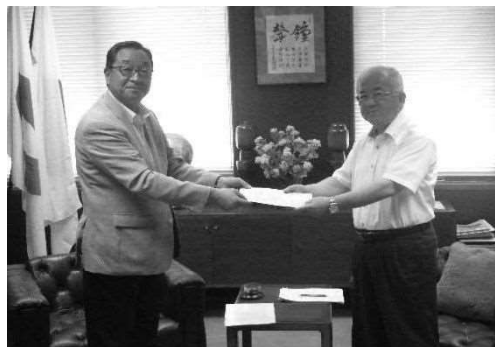


## 4 その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

### (1) 一関市長へ施策提言書を提出

地球温暖化対策のための施策を5分野19項目にまとめ提言として提出した。

- 提言日 平成28年8月3日（水）
- 場 所 市長応接室
- 回 答 平成29年4月4日に受領



### (2) 協議会ブースの設置による住民への周知

いちのせき市民フェスタにおいて、「木と太陽のある暮らし」と題してパネル展示とクイズを実施した。

- 開催日 平成28年8月28日（日）
- 場 所 なのはなプラザ 2階
- 来場者 約50名
- 内 容 展示したパネルを来場者に解説して、クイズに答えた方に景品をプレゼントした。



### (3) 図書の寄贈

一関図書館に以下の図書を寄贈した。

○寄贈日 平成29年3月29日(水)

○寄贈図書

- ・「クライメート・ジャスティス」 日本評論社 明日香壽川 著
- ・「環境政策論(第3版)」 信山社出版(株) 倉坂秀文 著
- ・「英国シューマッハ校サティシユ先生の最高の人生をつくる授業」  
(株)講談社 辻 信一 著
- ・「図解と事例でわかる 省エネ基準」 (株)翔泳社 田中直輝 著
- ・「わがや電力」 ヨホホ研究所 テンダー 著

○贈呈者 千田恭平会長



### (4) 出前講座用DVDの作成

市民センターなどで出前講座を開催する方針とし、基本スライドを準備していたが、その過程でDVDの放映をしてもらう方が良いとの結論に達し、その作成を目指して取り組み中である。

第4回役員会議以降鋭意検討を重ね、環境省作成のDVD「地球温暖化への挑戦」を併用しながら、地域での取り組みを多く取り込んだ案を作成して、現在一関ケーブルネットへ作成を依頼している。また、DVD「地球温暖化への挑戦」は市民センターや学校、婦人団体協議会用として環境省から92枚受領済みである。

なお、DVDの作成を優先したため、出前講座は未開催となっている。

## 5 その他

省エネ・創エネキャラバン隊「総集編」の開催を予定していたが、第4回役員会議で、その状況にないとの判断に至り中止または延期することにした。

認定第1号 平成28年度収支決算について

会則第11条第2項に基づき平成28年度収支決算について次のとおり認定に付する。

平成29年5月21日提出

一関地球温暖化対策地域協議会  
会長 千田 恭平

平成28年度収支決算

収入の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
会費	117,500	105,500	△12,000	個人会員(延71名) 35,500 企業・団体会員(14) 70,000
補助金	851,000	851,000	0	一関市 851,000
雑収入	459	9	△450	預金利子 9
繰越金	304,041	304,041	0	繰越金
合計	1,273,000	1,260,550	△12,450	

支出の部

(単位：円)

項目	予算額	決算額	比較	説明
報償費	120,000	34,000	△86,000	講演会講師謝礼 30,000 太陽熱温水器調査協力者謝礼 4,000
旅費	70,000	48,940	△21,060	環境セミナー講師旅費 7,000 役員会等出席費用弁償 41,940
需用費	800,000	810,111	10,111	広報eco印刷費 691,433 市民フェスタ景品等 27,311 自然エネルギー見学会 78,619 会議お茶代 1,228 寄贈用図書 11,520
役務費	2,000	1,512	△488	振込手数料(広報eco印刷費2回分) 1,512
使用料	10,000	2,000	△8,000	学習会会場使用料 2,000
負担金	0	0	0	0
予備費	271,000	36,564	△234,436	総会時懇親会講師分の会費 4,000 事業など案内用切手代 32,564
合計	1,273,000	933,127	△339,873	

収入済額 1,260,550円 - 支出済額 933,127円 = 327,423円

は翌年度に繰り越すものとする。

監査報告

平成28年度収支決算について、平成29年4月20日に監査を行った結果、正当かつ正確であることを認める。

平成29年5月21日

一関地球温暖化対策地域協議会

監事 藤 江 元



監事 薄 井 信 次





議案第1号 平成29年度事業計画（案）について

会則第11条第2項に基づき平成29年度事業計画を次のとおり定める。

平成29年5月21日提出

一関地球温暖化対策地域協議会  
会長 千田恭平

一関地球温暖化対策地域協議会 平成29年度事業計画（案）

昨年8月末に、台風10号が東北の太平洋側から初めて上陸し、岩泉町などで死者・行方不明者が23名、県全体で総額1,400億円を超える被害が発生しました。

また、その直前に北海道をたて続けに3つの台風が襲ったことも特筆され、北日本が気象災害に見舞われる時代が到来してしまいました。北日本の近海を進む台風が衰えずに上陸する原因の一つは、海面水温が高いことが考えられます。

これまでは、地球に蓄えられるエネルギーの9割以上を海が引き受けることによって気候が緩和されてきましたが、その結果海水温の上昇が目立つようになって逆に海が気候変動の主役になってきています。大気に比べ1,000倍も暖まりにくい海を温めてしまった現在、地球温暖化の進行を止めることはできませんが、それでも緩和する努力を怠れば一層の困難に直面します。

一昨年採択された「パリ協定」は昨年11月4日、1年も経たないうちに発効を迎えました。このことは世界の人々が地球温暖化の脅威を身近に感じていることに他なりません。トランプ米大統領の政策により、多少の回り道は避けられないのかもしれませんが、それでも温室効果ガスを減らしていくという大きな目標は人類共通の課題であることは明らかです。

日本では2014年、2015年と3%ずつ温室効果ガスの排出が減ってきています。省エネが進展していることと、太陽光発電などの再生可能エネルギーが普及しつつあることがその要因と考えられます。そして、これらを一層進め「パリ協定」と共に歩むことが求められています。

微力ですが、地域に暮らす私たちは省エネや創エネの取り組みの一つ一つを丁寧に積み上げ、近い将来、二酸化炭素の排出が少ないまち一関を誇れるようになりたいものです。こうしたことを基本に据え、以下の活動に取り組みます。

- 1 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進
- 2 岩手県地球温暖化対策推進計画の普及啓発活動
- 3 会員相互の情報交換、発信
- 4 地域で実践できる協働事業の計画・実施
- 5 その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

## 具体的な活動案

- 1) 気候セミナー・講演会の開催
- 2) 出前講座の開催  
I E L 分のDVDを完成させ、環境省分と合わせ、市民センター、婦人団体協議会、学校に配布の上、講座を開催する。
- 3) 省エネ・創エネの取り組みの推進
  - ・住宅用太陽光発電の普及推進
  - ・太陽熱温水器に関する情報収集とその普及
  - ・設置者による意見交換、製作メーカーなどによるセミナーの開催
  - ・住宅用蓄電池に関する情報収集
  - ・木（薪）の駅の事例調査
  - ・薪ストーブ・ボイラー、ペレットストーブ導入者による意見交換会とそれらの普及
  - ・地中熱利用（+ヒートポンプ）に関する情報収集とその普及
  - ・ゼロエネルギー住宅の普及・・・・・・・・など
- 4) 自然エネルギー等見学会
- 5) 市民フェスタで当協議会ブース設置
- 6) 広報e c oの発行（年2回）
- 7) 「低炭素なまちづくり」に関する調査研究の継続
- 8) 地域主導による自然エネルギー事業化支援
- 9) 他団体との協働や支援
- 10) 会報の発行（随時）
- 11) 図書の寄贈

案第2号 平成29年度収支予算（案）について

会則第11条第2項に基づき平成29年度収支予算を次のとおり定める。

平成29年5月21日提出

一関地球温暖化対策地域協議会  
会長 千田 恭平

平成29年度収支予算

収入の部

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較	説明
会費	105,000	117,500	△12,500	個人会員(70) 35,000 企業会員(14) 70,000
補助金	851,000	851,000	0	市補助金
雑収入	577	459	118	預金利子等
繰越金	327,423	304,041	23,382	前年度繰越金
合計	1,284,000	1,273,000	11,000	

支出の部

(単位:円)

項目	予算額	前年度予算額	比較	説明
報償費	60,000	120,000	△60,000	講師謝礼等 60,000
旅費	70,000	70,000	0	講師旅費 30,000 役員会議出席旅費 40,000
需用費	1,040,000	800,000	240,000	広報eco印刷費 700,000 各種事業に係る経費 320,000 寄贈図書 20,000
役務費	50,000	2,000	48,000	振込手数料 2,000 事業等案内送付料 48,000
使用料	10,000	10,000	0	会場使用料等 10,000
負担金	0	0	0	
予備費	54,000	271,000	△217,000	
合計	1,284,000	1,273,000	11,000	

※項目間の流用は、役員会に一任する。

**議案第3号 役員の選出について**

会則第8条第1項に基づき次の役員の選出を求める。

平成29年5月21日提出

一関地球温暖化対策地域協議会  
会 長 千 田 恭 平

1. 会長（1名）

2. 監事（2名）

**議案第4号 役員の承認について**

会則第8条第2項に基づき次の役員の承認を求める。

平成29年5月21日提出

一関地球温暖化対策地域協議会  
会 長 千 田 恭 平

1. 副会長（若干名）

2. 事務局長（1名）

一関地球温暖化対策地域協議会会則

(名 称)

第1条 本会は一関地球温暖化対策地域協議会（略称 I E L）と称する。（以下「協議会」という。）

(目 的)

第2条 協議会は住民、事業者、行政が地域レベルで連携し協力しながら、健全で恵み豊かな地球環境の「保全と創造」を基本理念に具体的な地球温暖化防止活動について、各主体が適切な役割を担い、自主的かつ積極的に継続して環境対策に取り組むことを目的とする。

(活 動)

第3条 協議会は次に掲げる活動を行う。

- (1) 地球温暖化対策の学習・教育活動の推進
- (2) 岩手県地球温暖化対策推進計画の普及啓発活動
- (3) 会員相互の情報交換、発信
- (4) 地域で実践できる協働事業の計画・実施
- (5) その他協議会の目的達成のために有効な諸活動

(組 織)

第4条 協議会は第2条に定めた目的に賛同する個人、法人、団体等（以下「会員」という。）をもって構成する。

(入会)

第5条 協議会に入会しようとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出する。

- 2 協議会は、前項の入会申し込みがあった場合には、正当な理由なくこれを拒んではならない。

(退会)

第6条 会員が次の各号の一に該当する場合には退会したものとする。

- (1) 会員から別に定める退会届が会長に提出されたとき。
- (2) 正当な理由なく第12条に規定する会費を1年以上納入しないとき。
- (3) 会員が死亡又は解散したとき。

(役 員)

第7条 協議会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 監事 2名
- (4) 運営委員
- (5) 事務局長 1名

- 2 協議会に顧問を置くことができる。顧問は会長の諮問に応え会議に出席し意見を述べることができる。

(役員を選出及び任期)

第8条 会長及び監事は、会員の互選により総会において選出する。

- 2 副会長及び事務局長は、会長の指名によって総会の承認を得て選出する。
- 3 運営委員は会長が指名する。
- 4 役員任期は2年とする。但し、再任を妨げない。
- 5 補欠役員任期は前任者の残任期間とする。

(役員職務)

第9条 会長は協議会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代行する。
- 3 監事は、会計の監査を行う。
- 4 役員は役員会議に出席し、第3条に定めた活動について協議する。
- 5 事務局長は協議会の日常業務を統括処理する。

(役員報酬)

第10条 役員は無報酬とする。

(会議)

第11条 会議は総会と役員会議とする。

- 2 総会は年1回及び必要に応じ、会長が召集し、会則の改廃及び役員選任、事業報告及び収支決算報告の承認、事業計画及び収支予算の承認、活動計画等について決定する。
- 3 役員会議は必要に応じ随時開催し、第3条に定めた活動について協議する。
- 4 会議の議長は会長が務める。
- 5 必要に応じ、専門委員会を置くことができる

(経費)

第12条 協議会に必要な経費は、会費、負担金、支援金及びその他の収入をもってこれに充てる。

ただし、会費にあつては次に掲げる額とする。

- (1) 個人会員 年会費 500円
  - (2) 企業、団体（非営利団体と認められる団体を除く。）会員 年会費一口 5,000円
- (会計年度)

第13条 協議会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

(事務局)

第14条 協議会の事務を処理するため、事務局を置き、事務局長のほか職員を置くことができる。

- 2 事務局は当面一関市市民環境部生活環境課内に置く。

(委任)

第15条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は別に定める。

附則

この会則は平成19年3月22日から施行する

附則（平成19年10月9日改正）

この会則は、平成19年10月9日から施行する

附則（平成22年5月16日改正）

この会則は、平成22年5月16日から施行する



## 一関地球温暖化対策地域協議会 役員名簿

(平成29年5月1日現在)

	役員名	氏 名	個人・団体	団体推薦の場合 (法人・団体名)
1	会 長	千 田 恭 平	団体推薦	弓手川結いネットワーク
2	副 会 長	徳 谷 喜 久 子	個 人	
3	副 会 長	菅 原 佐 喜 雄	個 人	
4	事務局長	佐々木勝裕	個 人	
5	事務局次長	佐 藤 敏 朗	個 人	
6	監 事	藤 江 元	団体推薦	NPO 法人北上川サポート協会
7	監 事	薄 井 信 次	個 人	
8	運営委員	※ 人 選 中	団体推薦	一関商工会議所
9	運営委員	柴 田 勝 久	団体推薦	一関工業高等専門学校
10	運営委員	千 葉 勝 彦	団体推薦	(有)大東交通サービス
11	運営委員	小 野 仁 志	団体推薦	いちのせき市民活動促進会議 インアーチ
12	運営委員	槻 山 千 恵	個 人	
13	運営委員	菅 原 寿	個 人	
14	運営委員	鈴 木 智 道	個 人	
15	運営委員	鈴 木 嘉 子	個 人	
16	運営委員	菊 地 清 志	個 人	

## 一関地球温暖化対策地域協議会 個人会員名簿

(平成29年5月1日現在)

No.	氏名	地域	No.	氏名	地域
1	千田 恭平	千厩	40	高田 一郎	真滝
2	千葉 光雄	山目	41	小山 隆春	盛岡
3	山下 政治	真滝	42	菊地 善孝	大東
4	菅原 英雄	真滝	43	石山 健	花泉
5	大友 孝夫	一関	44	前田 眞	東山
6	佐藤 敏朗	山目	45	酒井 栄	奥州
7	千葉 胤雄	真滝	46	佐々木 朋和	東山
8	佐々木 勝裕	花泉	47	千葉 精一	巖美
9	神崎 浩之	山目	48	鈴木 嘉子	山目
10	飯村 昌弘	市職員	49	上野 洋子	室根
11	大野 恒	真滝	50	及川 幸江	山目
12	藤野 秋男	千厩	51	菅原 邦久	東山
13	菅原 佐喜雄	千厩	52	菊地 清志	一関
14	菅原 稔	市職員	53	木村 喜美雄	真滝
15	千葉 勝彦	大東	54	小野寺 邦男	一関
16	薄井 信次	弥栄	55	原田 徹郎	萩荘
17	千葉 裕	狐禅寺	56	大越 留美子	山目
18	徳谷 喜久子	萩荘	57	小野寺 秀	花泉
19	千葉 温	一関	58	宮脇 頼子	山目
20	小野 仁志	一関	59	千葉 七蔵	平泉
21	槻山 千エ	真滝	60	佐藤 博	真滝
22	菅原 寿	山目	61	若山 愛	一関
23	徳谷 眞樹	萩荘	62	金野 秀市	大東
24	鵜浦 公喜	花泉	63	石川 幹雄	萩荘
25	千葉 幸一	市職員	64	沼倉 信夫	花泉
26	藤江 元	川崎	65	工藤 哲志	藤沢
27	伊藤 京子	真滝	66	千葉 進	千厩
28	佐々木 幸子	弥栄	67	千葉 正子	千厩
29	高橋 功	滝沢市	68	及川 忠之	大東
30	鈴木 智道	巖美	69	及川 孝雄	藤沢
31	及川 良一	弥栄	70	山川 純一	花泉
32	岩 潤 悟	市職員	71	高橋 利己	花泉
33	菅原 仁	真滝	72	三浦 二三男	大東
34	岩城 且佳	中里	73	渡部 裕司	萩荘
35	菅原 雪枝	弥栄	74	佐藤 耀子	山目
36	那須 茂一郎	大東	75	菅原 栄一郎	藤沢
37	佐々木 奈良美	一関	76	高橋 健治	藤沢
38	佐藤 友季子	一関	77	及川 勝美	大東
39	小松原 弘子	矢巾町	78		

## 一関地球温暖化対策地域協議会 企業・団体会員名簿

(平成29年5月1日現在)

No.	氏 名	地 域
1	一関商工会議所	一 関
2	NPO 法人北上川サポート協会	川 崎
3	一関工業高等専門学校	一 関
4	川嶋印刷(株)	平泉町
5	三光化成(株)東北事業部	一 関
6	トーバン印刷(株)	千 厩
7	クリーンセンター花泉(有)	花 泉
8	(株)岩手日日新聞社	一 関
9	(有)大東交通サービス	大 東
10	吸川をきれいにする会	一 関
11	(株)日ピス岩手	一 関
12	いちのせき市民活動促進会議 インアーチ	一 関
13	特定非営利活動法人 レスパイトハウス・ハンズ	一 関
14	(有)尾形建設	千 厩
15	(有)駒崎材木店	大 東
16	暖樂工房CHIJO	平泉町
17	(株)平野組	一 関
18	(株)金澤電気工業所	一 関
19	(有) 玉澤建設	藤 沢
20	千厩川にサケをよぶ会	千 厩
21	スマート環境デザイン(株)	花 泉
22	ニッコー・ファインメック(株)	千 厩
23	(株)一関LIXIL製作所	一 関